



平成19年9月6日

**千葉大の特色ある大学院教育活動  
文科省「大学院教育改革支援プログラム」に5件採択！  
【文科省が9月6日（木）16時～17時に記者会見を予定】**

千葉大学から文部科学省主催事業「大学院教育改革支援プログラム」に申請していた全6件のうち、下記5件の取組みが採択されました。

このプログラムは、産業界をはじめ社会のさまざまな分野で幅広く活躍する高度な人材を養成するため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組みに対して文部科学省が財政支援を行うもので、平成19年度予算額35億円の新規事業です。

今回千葉大学で採択されたものは、人社系・理工農系・医療系の各分野にわたっており、総合大学としての千葉大学が各分野で意欲的な大学院教育活動を行っていることを実証したものの、また、全国における大学院教育のモデルとして高い評価が下されたものといえます。

千葉大学はその期待に応え、がんばります。

各取組みの今後の展開に、ご期待下さい。

なお、千葉大学では、本年度、数多くの支援事業に採択されています。

「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」

「専門職大学院等教育推進プログラム」

「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム（社会人学び直し）」

「がんプロフェッショナル養成プラン（がんプロ）」

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

「大学教育の国際化推進プログラム（海外先進研究実践支援）」

「理数学生応援プロジェクト」

「アジア人材資金構想・高度専門留学生育成事業」

「女性研究者支援モデル育成プログラム」等

## 平成19年度「大学院教育改革支援プログラム」に採択された取組み

### ・「実践的公共学実質化のための教育プログラム」

三宅明正 人文社会科学部 教授

専門的な知の技法を修得したうえで、従来の「専門性」の枠を超えて、広く市民社会とかかわりながら実践的に「公共性」を構想することができる人文社会科学の研究者、あるいは、社会的公共性の一角を担う高度専門職業人、さらには、知識基盤社会を支える知的素養豊かな市民等の人材養成に向けて、組織的・体系的な大学院教育を構築するものです。

### ・「高度デザイン教育プログラム」—サービス&プロダクト・デザインをコア・コンピタンスとする人材の育成—

青木弘行 工学部 教授

高度デザイン人材育成を目的として、人間生活に必要なさまざまなサービスとプロダクトを高度に融合したデザイン教育プログラムを開発します。具体的には、工学部デザイン科学専攻に新たな「サービス&プロダクト・デザイン」コースを構築し、21世紀に求められる新たなデザイン領域の開拓をめざします。

### ・「大学院環境園芸学エキスパートプログラム」—アジアの園芸学教育研究拠点における食と緑のエキスパート養成—

菊池眞夫 園芸学部 教授

環境園芸学の課題は「人類の福祉の向上」に集約され、限界ある地球環境資源の下で持続的な発展を可能にすることにあります。これらの問題を解決できる人材として、高度な専門性と柔軟な発想力を兼ね備えた食のマルチエキスパート、緑のマルチエキスパートを養成するため、複合的で充実したカリキュラムの開発ならびに実質化を行います。

### ・「専門看護師育成・強化プログラム」—専門看護師リーダーの養成—

中村伸枝 看護学部 教授

現在の看護学部博士前期（修士）課程にある専門看護師教育の充実と、専門看護師を在職のまま1年間受け入れる博士後期課程に連動した「専門看護師強化コース」の新設を核とした、博士課程における新たな教育改革です。これにより、高度な看護実践能力と研究能力を備えた専門看護師リーダーの養成をめざします。

### ・「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」

山本恵司 医学薬学部 教授

大学院での一貫教育のもとに、医療専門職として国際規模での医薬品の治験・臨床研究を担う人材養成を目的とするものです。医学薬学部在籍している大学院生は医師、薬剤師免許を有する方がほとんどです。その優秀な若手研究者による世界規模での活躍、ならびに、医師に対しての治験・臨床研究を計画・実施することができる技能習得をめざします。

〔参考資料〕

- 1) 国公私を通じた大学教育改革の支援の充実
- 2) 文部科学省におけるヒヤリングで使用した各取組みのスライドの一コマ

平成19年度「大学院教育改革支援プログラム」(文科省ホームページ)はこちらをご覧ください

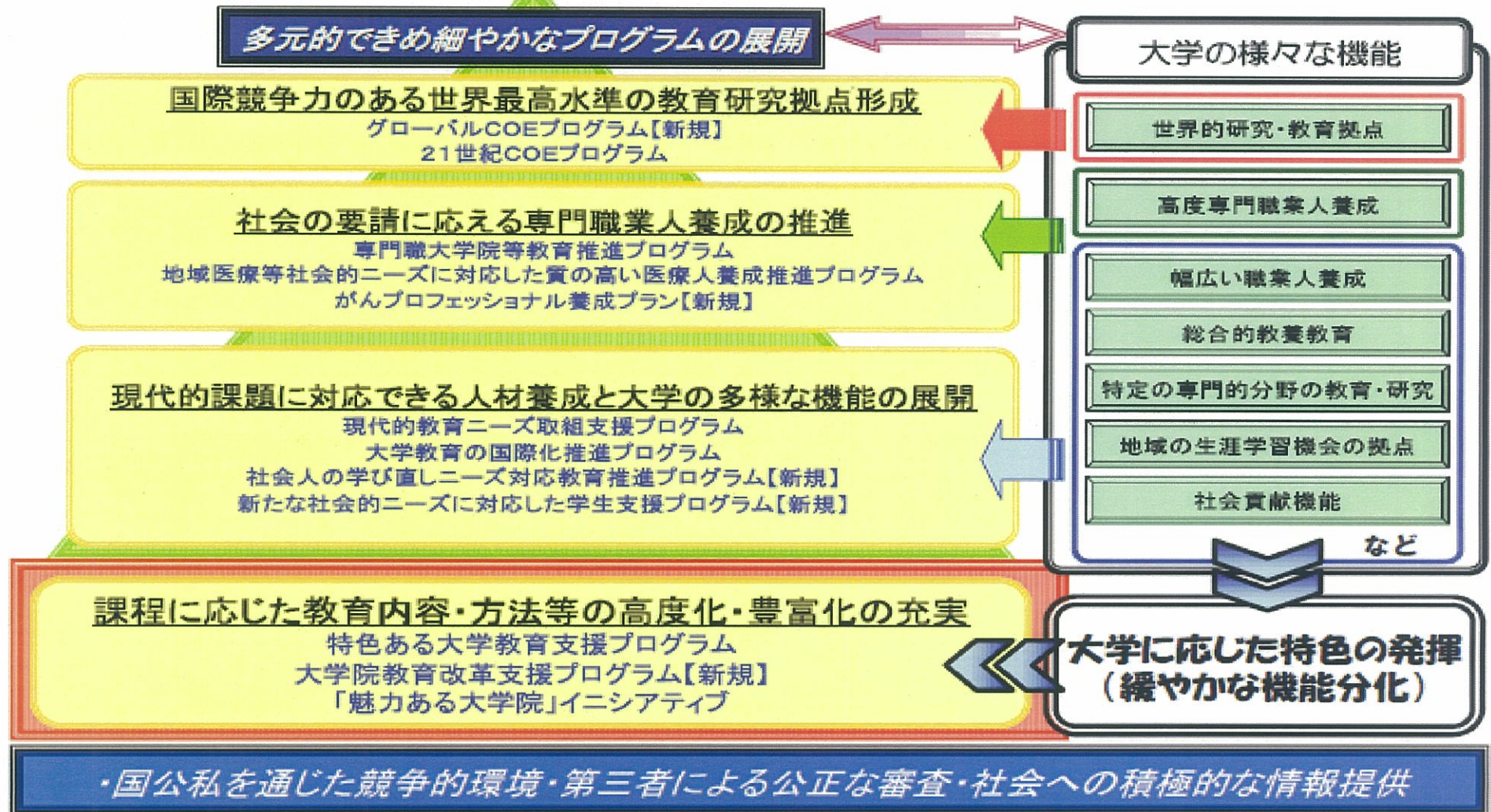
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/daigakuin.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/daigakuin.htm)

本件に関するお問い合わせ先

- 採択された取組み全般の目的・内容に関しては：  
千葉大学理事・副学長（教育担当） 宮崎  
Tel：043-290-2004 Fax：043-290-2064
- 採択された取組みの個々の詳細に関しては：  
個々の取組みのリーダー教員  
(連絡方法については、下記の教務課でお問い合わせください)
- 採択された取組みに関する事務全般に関しては：  
千葉大学学生部教務課 横山  
Tel：043-290-2158 Fax：043-290-3606

# 国公私を通じた大学教育改革の支援の充実

(平成18年度予算額 56,201百万円)  
(平成19年度予算額 60,202百万円)  
(世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化等を含む)



# 大学院教育実質化に向けた取組

◇実質化のための取組

## これまでの取組実績

- 組織体制の見直し：  
専任教員の配置
- 体系的な履修：  
研究プロジェクトへの参加  
書評論文
- 履修プロセスの管理：  
特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
全体研究会（到達度の公開・FD）
- 留学生支援：経済的支援、PC貸与
- 社会人支援：サテライト、長期履修学生制度
- 21世紀COE：**公共研究**

## 本プログラムの新たな取組

### 実践的公共学応用プログラム

#### 基盤的研究プログラム

- リサーチ・プロジェクト
- 人文社会科学  
リサーチ方法基礎論

#### 国際化推進 プログラム

#### 留学生・社会人 支援プログラム

### 実践的公共学

# サービス&プロダクト・デザイナーの養成

◆人材養成目的

航空サービス



プロダクト・デザイン

サービス・デザイン

サービスをよりよくするためのデザイン=サービス&プロダクト・デザイン  
●サービスだけのデザインではない ●プロダクトだけのデザインでもない

今までのサービス&プロダクト・デザインに従事するデザイナーは？

- 時代の変化とともに知識を獲得し企業が育成してきた
- 現在この分野の人材はほとんどが工学系デザイン学科の出身

今後は、企業入社前にサービス&プロダクト・デザインを学習した人材が必要

サービス&プロダクト・デザインという新たな  
コア・コンピタンスを持つデザイナー (S&P DESIGNER) の育成

S&P DESIGNER 育成教育のための教員養成

# 人材養成の目的・構造

## 2. 研究科・専攻における教育の課程

園芸資源の利用、環境管理、バイオ産業の発展に貢献出来る人材

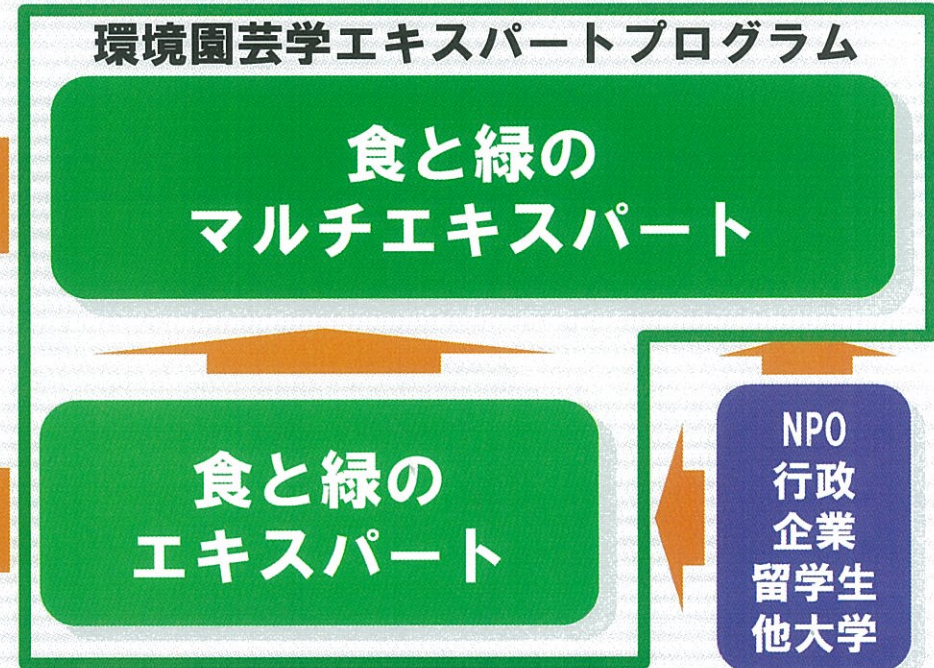
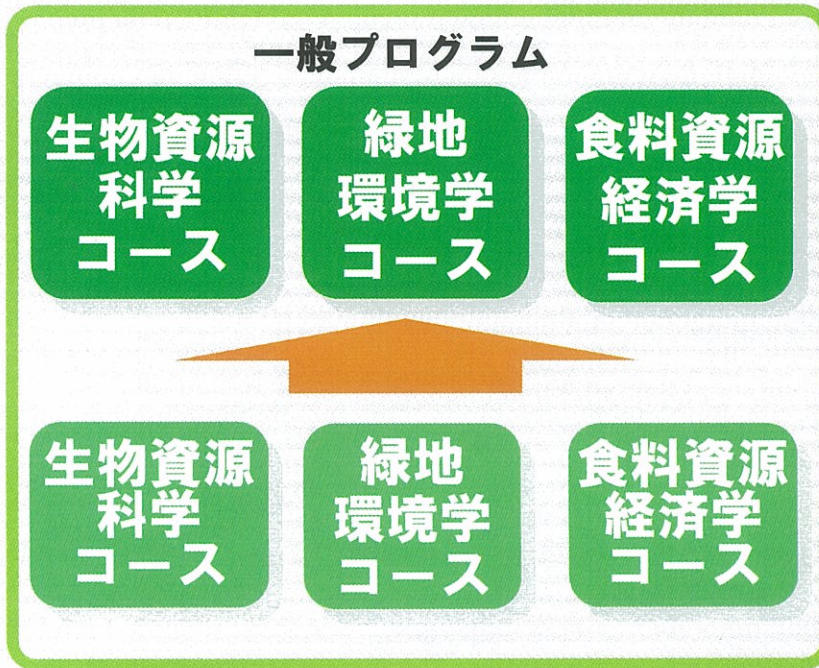
緑地技術者の基礎を備え、社会のニーズに的確に応えられる人材

食料の流通、農地や緑地のマネジメントができる人材

### 食と緑のマルチエキスパート

- 食の安全安心を多面的に理解し課題の把握・解決ができる人材
- 資源循環と食料生産を多面的に理解し課題の把握・解決ができる人材
- 環境と社会を統合的に理解し地域づくりに取組める人材

博士後期課程  
博士前期課程



# CNSリーダーに求められる能力と 「専門看護師育成・強化プログラム」の関連

CNSリーダーに求められる能力の発展



専門看護師育成・強化プログラム

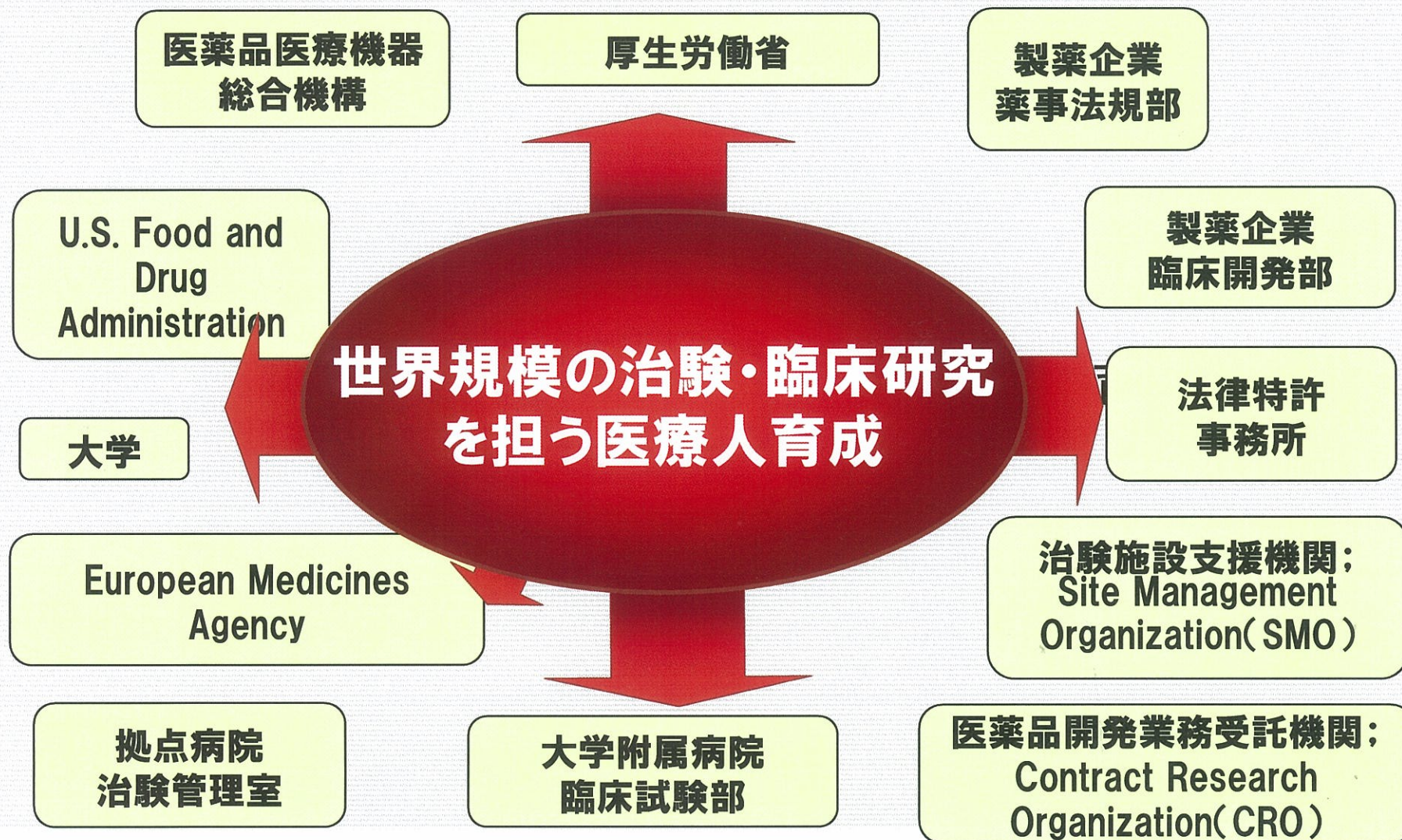
平成19年度「大学院教育改革支援プログラム」ヒアリング



国立大学法人 **千葉大学**  
National University Corporation  
Chiba University



# 修了後の主な就職先



**世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成**